

事業計画書

【平成30年度】

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

一般社団法人 愛知医科大学同窓会

平成 30 年度 事業計画

平成 30 年 3 月 10 日(土)

【はじめに】

一般社団法人として本会が永続的に発展・成長し続けるためには、安定した財政基盤の構築を図っていくことが必要との考えに基づき、事業財源の確保と事業収支の均衡を最重要課題としました。このためには、会員ニーズの把握に努めるとともに、会費納入に繋がる魅力ある事業運営並びに会員相互の“絆”の強化に係る諸施策を企画、立案し、会員の帰属意識を持続可能とする取組みを行うとともに、費用対効果を考慮した運営を行っていくこととします。

本会の諸事業は、これまで事業改善とその管理・財政基盤の整備等、本会組織を取り巻く社会環境や時代に即応する会員ニーズの変化等に留意しつつ、段階的に行ってまいりました。

本会の永続的発展は、会員及び利害関係者のニーズを察知し、その実現に應えることにあります。また、「同窓会」は、母校である「愛知医科大学」と同窓生である「会員個々」の3者が協調・協働し相互支援のもと、共に発展を続けなければなりません。

もとより、各年度事業計画は、本会の目指すべきビジョン達成に向けた中・長期、短期計画における単年度実行計画であります。今期は、来る周年事業に向け総合・包括的な事業の検討を行うとともに、主管校となる「全国私立医科大学同窓会連絡会・第28回西部会」を成功裏に導くとともに、平成31年主管校となる「第30回全国私立医科大学同窓会連絡会・全国会」の準備を行っていきたいと思います。

会員各位には、同窓会への一層のご理解・ご支援をお願い致します。

【事業計画】

(目的)

平成30年度事業計画は、来る40周年、45周年等、中長期計画の策定、春の定時社員総会の実施、及び同窓会会員相互の連携を密にして一層の帰属性と、「絆」意識の高揚を図ることを目的とします。

一般社団法人として8年目となる運営・管理体制の整備は、「愛橋会」の安定的発展と円滑な運営に帰するため、中・長期的な視点から段階的見直しと施策により、その基盤の強化をさらに推進するものとします。

(委員会の役割と改善の目標)

事業計画の企画・立案、及び執行機関である各委員会は、会員各位及び利害関係者のニーズに應えるため、事業成果の程度及び費用対効果の視点から諸事業の見直しを行うものとします。

1 組織委員会事業計画

同窓会総会の盛大かつ円滑な運営について提言、協力援助を行う。

- (1) 同窓会事業活動の積極的かつ円滑な推進のために、組織活動を継続する。
- (2) 収入・支出について、財務担当理事と協議し、是正点を検討し対策を講ずる。
- (3) 会員情報の在り方について、個人情報保護と会員ニーズの視点から基本方針を決定する。
- (4) 大学との共同で会員情報のデータベース化を図り、会員情報の一元化と業務効率の合理化を図る。
- (5) 会員への情報発信ツールとして SNS の活用を検討する。
- (6) 支部会活動を更に充実すべく、全国支部長会議の開催を計画する。
- (7) 地域医療に関する大学の教育・実習へ協力支援する。
- (8) 在学生を応援し、同窓会事業への参加を図る。

- (9) 同窓生や医学教育センターの協力を得て、会議等への講演（生涯教育）を行う。
- (10) 卒後臨床研修センターとの連携を深めて、初期研修の充実と活性化のために協力援助する。
- (11) 大学と連携し、同窓生の動向や活躍などの各種情報の収集に努める。
- (12) 大学が行う事業を積極的に支援する。
- (13) 会員に対して寄附推奨を行う。
- (14) 平成 30 年定時社員総会は、ホテルで開催することとする。

2 広報企画委員会事業計画

- (1) 愛橋会会報を、年 2 回（7 月・1 月）発行する。
（又は「愛橋会会報は、ホームページの活用及び掲載内容（ポジティブかつメッセージ性の強化）を検討する。」）
- (2) 同窓会ホームページの充実（迅速性及び利活用）と維持更新を図る。
- (3) ホームページの独立を検討する。
- (4) 他の委員会と協働し、同窓会と各委員会事業への会員参加を PR する。
- (5) 同窓会の標章（シンボルマーク）の周知、活用を行う。
- (6) 同窓会のスクールグッズ等の作成について検討する。

3 学術・教育委員会事業計画

- (1) 愛橋学術賞（褒賞制度）について、愛橋会会報やホームページからの案内、大学医局長・講座長・各同窓会支部長宛及び個人宛に郵送にて広く知らせる。
- (2) 愛橋学術賞受賞者（候補者）を決定し、同窓会総会および愛橋会会報・ホームページに発表・報告する。
- (3) 愛橋医学奨励賞（学生対象の褒賞制度）（候補者）を決定し、愛橋会会報・ホームページにおいて報告する。
- (4) 本同窓会会員が学会長として主催する学会（全国規模・地方会規模）に対して 助成し、愛橋会会報・ホームページにおいて報告する。
- (5) 本同窓会会員本人が留学者で、担当教授の推薦があるものに助成し、愛橋会会報・ホームページにおいて報告する。
- (6) 本学後輩医師の生涯教育、特に研究（英文論文作成等）に対するモチベーションアップに繋がる指導等を行い同窓会の存在意義を図る。

4 学生支援委員会事業計画

学生支援委員会の役割として

- ① 大学の発展に貢献できる学生会員の人材を発掘し、その支援を行うこと、②学生会員として同窓会への帰属意識を高める活動を行うこと、③学生が学生生活を円滑に過ごせるように支援すること。
以上の役割を果たすため平成 30 年度下記の事業計画を企画する。
- (1) 表彰に値する学生を発掘し、学生表彰を行い同窓生に周知し、合わせて同窓会活動の理解を深めるとともに、また同窓生としての帰属意識を高めていく。
- (2) 卒業式において成績優秀者に同窓会長賞を贈呈する。
- (3) 大学祭への支援活動として、助成金を交付するとともに、大学祭実行委員（4 年生）との交流を図り、また同窓生としての帰属意識を高めていく。
- (4) 国試対策委員（4～6 年生）との交流を図り、国試対策活動への援助を行うとともに、また同窓生としての帰属意識を高めていく。
- (5) 国家試験当日（2 日間）において、夜間診療体制を会員の協力のもとに要請があれば実施する。

5 男女共同参画委員会事業計画

- (1) 男性・女性問わず、ひとりの医師として、多様性のある働き方への支援の在り方を踏まえ、同窓会活動に繋げていくことを目的として行う。
- (2) 学内組織の中での、男女共同参画の活動を同窓会として支援する。
- (3) 母校の中での女性を含む同窓生のキャリアアップにつながる活躍を支援する。
- (4) 大学と共同して男女共同参画セミナーの開催を行い、同窓生・学生等に同窓会活動を周知させていく。
- (5) 平成 29 年 1 月に開設した同窓会男女共同参画委員会相談窓口を引き続き充実を図る。

6 周年事業準備委員会関連事業計画

- (1) 「愛橋会記念事業積立基金」は、資金収支の平準化を目的として、継続して行う。
- (2) 周年事業の提言を行い、募金活動を行う。

7 支部会及びクラス会振興事業計画

- (1) 全国的に新たな支部会の設立を推進し、同窓生としての帰属意識を高める。
- (2) 全国支部長会会議を定例会議として 8 月に開催する。
- (3) 各支部会及びクラス会の活弁な活動を支援し、同窓会への帰属意識を高める。
- (4) 名古屋市内の支部を統合した組織又は名古屋支部会を検討する。

8 大学関連事業計画

- (1) 学校法人愛知医科大学理事・評議員会に出席し、法人側との意見交換ならびに協議を行う。
- (2) 理事長、学長、大学役職者との懇談会を開催し、情報、意見交換及び問題事項に関する協議を行う。
- (3) 大学との共同事業の計画及び実施、その他必要に応じて講演会等の開催及び講演者の派遣を検討する。
- (4) 学生教育を支援し、臨床実習の充実、国家試験合格率の向上への対応を図る。

9 学内機関関係事業計画

- (1) 春の父兄後援会定期総会（国試懇談会）に参加し、意見交換ならびに協議を行う。
- (2) 父兄後援会役員との懇談会を開催し、協議を行うとともに情報交換を図る。
- (3) 大学看護学部同窓会との交流ならびに情報交換を積極的に行う。
- (4) 医学部父兄後援会及び看護学部父母会等と時宜、課題等について共同企画をすすめ、実施していく。
- (5) 学内昇任者との懇親会を開催し、情報、意見交換を図る。

10 他機関同窓会関係事業計画

- (1) 私立医科大学同窓会連絡会「全国会」、「西部会」へ出席し、他大学同窓会の動向把握とともに「愛橋会」の事業推進に反映させていく。
- (2) 愛知県私立大学同窓会連合会へ参加し、県内の大学各同窓会との意見交換を行い「愛橋会」の事業推進に反映させていく。
- (3) 同県内の藤田保健衛生大学医学部同窓会「藤医会」との協議及び懇親会を開催し、両同窓会会員相互の情報交換を積極的に推進していく。

平成30年度予算（資金収支計算書）

I. 収入の部

一般社団法人愛知医科大学同窓会

科 目	平成30年度予算額	平成29年度予算額	平成 30 年 度 予 算 説 明
1 会費	21,750,000円	21,750,000円	@150,000×115名新入生、一部未納者等30名
2 雑収入	775,000円	70,000円	
銀行利息	5,000円	20,000円	銀行利息
その他	770,000円	50,000円	定時社員総会時、大学(理事長)祝儀、西部会会費徴収分72万円
3 寄附金	1,000,000円	1,000,000円	
4 広告協賛金			
5 記念事業積立金取り崩し	2,000,000円		大学寄附100万円、西部会開催100万円
当年度収入合計	25,525,000円	22,820,000円	
前年度繰越額	73,475,305円	73,454,305円	
収 入 合 計	99,000,305円	96,274,305円	

II. 支出の部

科 目	平成30年度予算額	平成29年度予算額	平成 30 年 度 予 算 説 明
1 印刷費	2,321,000円	2,321,000円	
会報	1,521,000円	1,521,000円	定期刊行(58号・59号、各3,200部(前年度5700部)、寄附募集趣意書 20万
その他	800,000円	800,000円	定期総会資料印刷・名刺
2 助成金	3,760,000円	3,350,000円	
クラス会	150,000円	150,000円	クラス会 1回目10万円 2回目以降 5万円 開催回数5回まで 3クラス会を計上
支部会	200,000円	200,000円	10万円/1支部会(開催回数5回まで) 4支部会を計上
医大祭	1,000,000円	1,000,000円	第43回医大祭・三者(学生、父兄会、同窓会)合同企画
学術振興	1,060,000円	1,100,000円	研究・出張助成(愛橋学術賞30万円・文鏡)(愛橋医学奨励賞5万円)
学会開催助成	300,000円	300,000円	地方学会1件、全国学会1件
海外留学助成	300,000円	300,000円	海外留学支援
学生支援	550,000円	300,000円	学生クラブ・同好会への支援
臨床研修医支援	200,000円		臨床研修セミナー助成
3 通信費	2,300,000円	2,100,000円	
発送費	900,000円	800,000円	定期総会関係・会報58号、会報59号、寄附募集趣意書発送10万
切手他	1,400,000円	1,300,000円	後納郵便料・NTT,NTTifax,ダイヤルイン,Faxサービス使用料・切手・葉書・各種郵送料(支部会、クラス会案内・資料送付等)
4 渉外費	665,320円	634,000円	
慶弔費	100,000円	100,000円	
卒業時記念品	193,320円	162,000円	ペンライト・同窓会長賞(ボールペン) @1,512×110名、30,000
入学時記念品	252,000円	252,000円	入学記念品(USBメモリー)・手提げバック @1,000×140、@800×140
その他	120,000円	120,000円	謝礼(定期総会来賓・大学関係者・解剖慰霊祭献花等)学生表彰5万、学術表彰2万
5 委託費	1,582,000円	990,000円	
法務委託費	160,000円	160,000円	わとう法務合同事務所
会計監査委託費	130,000円	130,000円	東桜税理士法人
業務委託費	1,292,000円	700,000円	ホームページ維持管理費等
6 税金	72,000円	72,000円	法人市県民税
7 消耗品費	700,000円	700,000円	
封筒・コピー用紙	150,000円	150,000円	封筒・コピー用紙・葉書用紙等
事務用品	300,000円	300,000円	文具等
コンピューター関係	150,000円	150,000円	プリンタートナー・カラーインク
その他	100,000円	100,000円	事務諸経費等
8 備品費	円	円	
コンピューター関係	0円	0円	
その他	0円	0円	
9 会議費	3,768,000円	3,718,000円	社員総会ホテル開催・理事監事会・委員会・支部会・懇談会・全国会・西部会・県私大連、男女共同委員会・卒後5年間の同窓生との懇親会・全国支部長会
10 旅費	1,600,000円	1,500,000円	社員総会・理事監事会・委員会・支部会・懇談会・全国会・西部会・県私大連、男女共同委員会・全国支部長会40万円
11 雑費(振込手数料他)	100,000円	100,000円	振込み手数料・残高証明書発行手数料
12 人件費(パート代)	4,600,000円	4,600,000円	職員給与(パート含)・交通費・労働保険料含
13 リース料	514,000円	514,000円	
パソコン・プリンター使用料	314,000円	314,000円	
コピー機使用料	200,000円	200,000円	
14 会費徴収事業	800,000円	1,000,000円	コンビニエンス専用用紙 定額料金240千円、在校生417千円、集金代行8千円、個人92千円、寄附募集870件213千円
15 名簿管理費	円	円	
16 予備費	400,000円	100,000円	社員総会関連予備費
17 記念事業積立基金	1,000,000円	1,000,000円	周年事業寄附を基金として積み立てる
18 寄付金	1,000,000円	0円	
19 保険料	60,000円	100,000円	
20 西部会開催費用	1,720,000円		
当年度支出合計	26,962,320円	22,799,000円	
当年度収支差額	△ 1,437,320	21,000	
次年度繰越額	72,037,985円	73,475,305円	
支 出 合 計	99,000,305円	96,274,305円	

周年事業等積立金	34,751,119円	29,751,119円	
実質繰越額	106,789,104円	103,226,424円	